FUNDACIÓN MARUWA FOMENTO DE BAILE ESPAÑOL

財団ニュースレター

第28号

2017年12月

発行：公益財団法人スペイン舞踊振興MARUWA財団　〒105-0014　東京都港区芝3-16-13　MARUWAビル 2F

TEL：03-5419-6513　FAX：03-5419-6514　URL：www.mwf.or.jp　E-mail：info@mwf.or.jp

当財団創立者が外務大臣賞を受賞

当財団創立者の神戸誠前理事長が、外務大臣より表彰を受けました。

去る平成29年7月6日、当財団の創立者である神戸誠前理事長が、長年にわたり芸術を通して日本とスペインの文化交流促進及び友好親善関係の増進に寄与した特に顕著な功績を評価され、栄えある外務大臣賞を授与されました。

愛知県瀬戸市にある株式会社 MARUWA の代表取締役である神戸誠氏が、2001年に当財団を設立してからはや16年。公益事業として CAF フラメンコ・コンクールや、スペイン舞踊・音楽に関する公演活動への助成等を通じ、若き芸術家の育成にひとかたならぬご支援をされてきました。また、ビエンナーレ公演や、フラメンコ・ワークショップの開催にあたっては、スペインから多くの優れたアーティストを招聘し、日本とスペインの文化の架け橋となってきたことも、内外から高く評価されたようです。

当財団の礎となった神戸誠前理事長が、国内受賞者27人のうちの1人に選出されたことは、当財団としても大変喜ばしく、個人の受賞ではありますが、これまでの当財団の取組が認められたものであり、関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

表彰状

神戸　誠殿

貴殿は芸術を通じた日本とスペインとの文化交流の促進に尽力されもって我が国と諸外国との友好親善に寄与しその功績顕著なものがあります　ここに深甚なる敬意を表するとともに表彰します

平成二十九年七月六日

外務大臣　岸田文雄

当日の授賞式で手渡された表彰状

第9回 CAF フラメンコ・コンクール結果報告

去る2017年２月、東京の Theatre1010にて、第９回 CAF フラメンコ・コンクールが開催されました。ここにその結果についてご報告させていただきます。

コンクールの入賞者達。左からコンセルバトリオ賞の宝さん、優勝の平山奈穂さん、準優勝のブラシェ小夜音さん

●予選には海外からの参加者も

第９回目となった、CAF フラメンコ・コンクール。近年は日本国外からの応募もあり、今回は、中国や台湾からの参加者を含む32名の方が一次予選を通過し、２月４日（土）に東京・北千住の Theatre1010で行われた二次予選に臨みました。10代から20代前半の方の出場も増えるなど、例年以上に多彩な顔ぶれが揃った大会となったように思います。

２月25日㈯に行われたコンクール本選には、見事、二次予選を突破した上位10名が出場。本選は曲種の縛りもないため、各々が得意とする多種多様な曲目で挑み、しのぎを削りました。

●レベルの高さが際立った今大会

長年、財団名誉理事として当財団の活動をバックアップし、コンクール一次予選の審査員を務めていただいた小松原庸子氏も「どのように点数をつけたら良いか審査員も苦労していましたし、本当にどなたが優勝してもいいような結果で、今回、入賞なさらなかった方も本当に素敵でした。2001年に初めてコンクールを開催した頃から思うと夢のようです」と、表彰式でコメントなさっていた通り、今回は、出場者の得点が僅差で並ぶ、極めてハイレベルな戦いになりました。

そんな激戦を制して優勝に輝いたのは、見事なアバニコ使いによる華やかなグアヒーラで客席を魅了し、総合点54.64（技術点56.30、芸術点52.97）を獲得した平山奈穂さん。次いで、高校生のブラシェ小夜音さんが、総合点53.99（技術点53.40、芸術点54.58）で準優勝に入賞しました。また、出場者のうち、希望した方に与えられる「コンセルバトリオ賞」は、前回コンクール準優勝者の宝さんが受賞。マドリードのマリア・デ・アビラ公立舞踊学院への留学権を手にしました。

グアヒーラでの優勝も、現役高校生の方の入賞も、これまでで初のことで、日本のフラメンコ界の層の厚さとポテンシャルの高さに、非常に驚かされた次第です。若い方々の出場が増えていることも本当に悦ばしいことで、こうした方達が、今後、研鑽を積んでどう花開いていくのかと、未来に向けての希望も、ひしひしと感じさせていただきました。

●次回コンクールに向けて

エキシビションでは、スペインからカンタオールのエル・ボケロン、ギタリスタのアントニオ・ゴンサレス、カンテ及びパルマにピラール・アストラを招き、前回コンクール優勝者の梶山彩沙さんと、前回第３位＆コンセルバトリオ賞をＷ受賞した正木清香さんに、それぞれソロを披露していただきました。

コンクール本選にてグアヒーラを踊る平山奈穂さん。アバニコを自在に操るキレのある踊りで喝采を浴びた。

演目は梶山さんがアレグリアス、正木さんがラ・カーニャでしたが、お二方とも、バタ・デ・コーラやマントンを使い、高度なテクニックに裏打ちされた素晴らしい踊りを披露してくれました。過去の受賞者の方々が、スペイン留学を経て成長した姿を目の当たりにできるのも、本コンクールの醍醐味の一つかと思っています。

次回のCAFコンクールは、2019年に開催予定です。今後も、フラメンコを志す若き舞踊家の卵たちのために、様々な機会を設けていければと思っておりますので、皆さまもご支援のほど、お願い申し上げます。

平成28年度 助成作品　報告

平成28年度の助成作品を上演された、河野睦さんより、公演のご感想をいただきました。

「AZUCENA　河野睦フラメンコ教室５周年記念公演

河野　睦

公演当日、早朝に大きな地震があり、津波も観測され、各方面への連絡確認に追われ…無事、幕が開いた時には本当に心底ホッとしました。そのこともあって、会場が少し神聖な雰囲気に満ちていたことも、作品自体のメッセージ性を高めたように思います。

（撮影者：大森 有起）

アンケートの回収率が高く、感動した、涙が出た、生きる勇気になった、と思いがけない言葉が並び、私の方が涙の出る思いでした。

一年にわたって準備してきた公演が無事終了して、今、心にあるのは“感謝”と“希望”、この言葉に全て集約されます。つたないながらも、思いのこもった作品を一緒に創り上げ、支えてくれたアーティスト、舞台スタッフ、応援し続けてくれる沢山の方々に心から感謝いたします。

これまでの５年間と、これからに思いを馳せる、とても大切な日になりました。この先に見えている何かキラキラとしたものを形にしていきたい。一緒に楽しみ、本気で向き合ってくれる仲間をさらに増やし、東京と仙台を行き来しながらフラメンコというこの奥深い世界を伝え、大切にしていきたいと思います。いつでも『次が楽しみ』と言ってもらえるように。

平成29年度 助成作品　報告

平成29年度の助成作品は、審査の結果、南風野香スペイン舞踊団さんの「パ･ド･トロワ〈白鳥の湖〉」（助成金額：100万円）、里有光子さんの「祈りのとき。」（助成金額：70万円）、岩田玲子さんの平清盛生誕900年前年祭奉納公演　祝～はふり」（助成金額：40万円）、青木愛子スペイン舞踊団さんの「青木愛子スペイン舞踊30周年記念公演　Relicario」（助成金額：30万円）、東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会さんの「東京外国語大学スペイン舞踊・カンテ研究会第24回リサイタル」（助成金額10万円）の５作品に決定しました。既に公演を終えられた方々のご感想を、以下に掲載させていただきます。

「第24回リサイタル」

東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会

（撮影者：フォトハウス・ネオ　石田 俊通）

この度は、東京外国語大学スペイン舞踊部･カンテ研究会第24回リサイタルをご支援いただきまして、誠にありがとうございました。２年生から４年生まで、出演者総勢48名で一丸となってよい舞台を目指し、作り上げてきたリサイタルが無事終演しましたのも、日頃、ご支援いただいている皆様のおかげと深く感謝しております。

今回の公演では、踊り９演目に加え、カンテ・ギターの演目を３つ行い、フラメンコの踊りのみならず、カンテの魅力にもより親しみやすい舞台を目指しました。私たち大学生のフラメンコは荒削りで未熟な点が多々ありますが、技術面をカバーするほどの情熱とエネルギーを感じていただけたのではないかと思います。

最後になりますが、今回のリサイタルを迎えるにあたり、多大なご支援をいただきました貴財団に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

「平清盛生誕九百年前年祭　嚴島神社奉納公演　祝～はふり～」

岩田 玲子

（撮影者：草地 義範）

嚴島神社での公演は、当初、屋根のある『千畳閣で奉納公演を』と昨年、夏に願い出て、神社から開催許可を得たのが11月末。しかも、『高舞台でおやりなさい』と場所を違えて、お返事をいただいた。高舞台という嚴島神社ど真ん中の国宝の舞台。ありがたいことなのだが、全てが番狂わせな、傍から見たら『酔狂極まりない公演』となった。

照明やスピーカーのブースは、当然、海へ設置するしかない。鳶職十数名が引き潮の２時間を狙って島へ渡り、鉄骨を組んでの設置工事。舞台が国宝の為、高舞台の上に厳重な養生工事。こうした公演活動は、個人でやれる規模ではない。有り難いことに、MARUWA 財団の助成をいただけることが心の支えになった。

当日は、680名のお客様に、各都道府県や海外からも足をお運びいただき、無事終演した。神社で奉納公演とくれば、なにやらかしこまったものを想像されそうだが、そこを裏切るような「一夜限りの傾き」を命題に、「和太鼓と神社」という日本人の DNA にバッチリはまるものの中に、フラメンコという異種のものをコラボレーションさせ、ひとつの作品を作り上げた。

この度は、ご支援いただき、ありがとうございました。

「パ・ド・トロワ　〈白鳥の湖〉」

南風野香スペイン舞踊団

（撮影者：スタッフ・テス株式会社）

５歳でバレエを始めて以来、ジャズダンス、フラメンコを経験し45年。この愛して止まない舞台芸術に何とか貢献したいという思いを胸に、フラメンコにも通ずる沖縄の血の躍動を感じながら、自分にしかできない「白鳥の湖」を舞台化するという長い間の想いを経て、今回の作品「パ・ド・トロワ　白鳥の湖」に辿り着きました。

作品を作ること事態、自主公演も今回初めての試みで、果たして形になるのか、また、本当に出来るのかさえ分からないまま時間が過ぎて行きました。しかし、振り返ってみると、そこに捻出する作業は微塵もなく、私の中に流れている素直なイメージを、才能溢れる表現者、技術者にお伝えしたところ、惜しむことなくお力添えを頂きました。舞台という様々な要素が絡みあい織りなす芸術を場として、皆が心を一つにして過ごした時間はとても貴重で有難い経験となりました。

また、貴財団から多大なる助成を頂き、自分の思い描いた以上の舞台を創る事が出来たと感じております。このようなご支援、ご協力がなければ、この作品は生まれなかったはずです。

皆様、本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

色々な人の手によって掬いだされ、大切に育てられた作品を開花する事ができ幸せです。

フラメンコ・ワークショップ in 名古屋報告

去る８月、愛知県名古屋市にて恒例の夏のワークショップを開催しましたので、ここにご報告させていただきます。

2017年８月９日～13日にかけて、名古屋市の MARUWA スタジオにて、名古屋ワークショップ「フラメンコ～ほんものを学ぶ～」が開催されました。

今回の講師は、2004年に財団初のワークショップを開催した際にもご来日いただいた、マリベル・ラモス氏。“La Zambra”の名で知られる彼女は、アントニオ・カナーレスやミラグロス・メンヒバル等に師事し、若かりし頃から世界各国の公演活動に参加。10代からセビジャーナスの講師を務め、クリスティーナ・ヘエレン財団フラメンコ学校やコルドバ公立音楽院にて教授活動にあたるなど、指導者としての実力も高く評価されている方です。

今回、昼クラス（上級者向き）ではアレグリアス、夜クラス（中級者向き）ではタンギージョを振り付けていただきましたが、どちらも大変な盛況ぶりで、夜クラスでは22名の定員いっぱいでの開催となりました。ハードな動きを伴う斬新な振付けに、参加者の方からは、当初はついていくのに必死だったという声も聞かれましたが、普段から教授活動に従事し、教えるということに慣れている彼女だけあって、全員がわかるまでしっかり教える、という姿勢で臨んで下さり、参加者の方々の満足度も非常に高かったようです。

レッスンを終え、マリベル・ラモス氏を囲んでポーズをとる夜クラスの生徒達。

名古屋以外でも開催してほしい、という声もいただいておりますので、また、皆様の期待に応えられるような講座を企画していきたいと考えております。今回、参加できなかった方も、次の機会に是非ご参加下さい！

平成30年度　助成事業　募集案内

平成30年度の助成事業の募集がいよいよ始まります。助成を希望される方は、下記をご参照の上、奮ってご応募ください。

■助成金

平成30年４月１日～平成31年３月31日迄に完了予定のスペイン舞踊、音楽に関する公演、イベントの企画に対して総額300万円を助成します。

■応募期間

平成30年１月10日～２月８日必着

■助成対象

芸術活動を続けている個人、或いは団体が主催するスペイン舞踊、音楽に関する芸術の普及、向上につながるような国内公演、イベントの企画で、他機関からの助成を受けていないもの。尚、これまで過去に100万円以上の助成を受けたことがある応募者の助成回数は3回迄としておりましたが、今年度より全ての応募を受けつけます。

■応募方法

応募用紙に上記活動の企画、予算、過去の芸術活動状況等を要約して記入の上、台本、或いはプログラム構成、過去の公演ビデオ又は DVD（10分間）と共に郵送のこと。応募用紙は当財団にご請求ください。また財団ホームページ http://www.mwf.or.jp/ からも入手できます。

■選考結果

意欲的で、優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を平成30年３月31日迄に、本人宛通知致します。尚、助成金支給は公演終了後一ヶ月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

■問合せ先

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団
〒105-0014　東京都港区芝3-16-13
MARUWA ビル２階
Tel.03-5419-6513 / Fax.03-5419-6514
URL http://www.mwf.or.jp/
E-mail info@mwf.or.jp